



任長	掃合部
委員	清組支
責任	京働京
行集	東労文
行集	東労文
発執	東労文

2008年06月15日  
第69号

# 予算人員要求強化

## 作業計画交渉の総括と課題

「平成20年度作業計画策定交渉」では、4月から9月までをサーマルリサイクル本格実施への準備期間と位置づけ、清掃事業の安定的な運営の継続を強く主張し、概ね要求を実現できた。

サーマルリサイクルの本格実施となる10月からの後期作業計画策定交渉は、今後の文京区における新たな清掃事業の基本を策定するきわめて重要な交渉になる。

したがって、「平成20年度作業計画策定交渉」においても、今後の清掃事業が安全で安定的に運営できることを基本とし、取組みを強化する。

また、再任用、再雇用職員の活用、さらには派遣職員の活用が進む中、文京区清掃職員の新規採用を求め、予算人員要求を強化する。

以上が総括と今後の課題である。これからの闘いに向け、以下に昨年度の取り組みを振り返る。

### 「平成20年度作業計画」総括

「平成20年度作業計画」は「平成19年度作業計画前期」及び「平成19年度作業計画後期」（サーマルモデル実施計画）交渉から予備協議を開始し

「施」を視野に入れた作業計画を策定する必要があることから、新年度作業が始まる4月から9月までを本格実施への準備期間と位置付け、可燃・不燃については、現状維持の計画とさせること。

②粗大ごみの効率化を議会などからも求められていることから、委託に頼らない効率化を実現させること。

③「平成19年度作業計画策定交渉」において、当局から引き続き協議事項であった軽小車輛の事業所配置問題。

文京支部として以上の課題・要求実現に向け、「平成19年度作業計画」

「平成20年度作業計画」の段階から水面下で非公式にリサイクル清掃課や清掃事務所との折衝を重ね続け、結果として3点の課題が整理・妥結された。

### 「平成20年度作業計画」課題の整理・妥結

①「平成20年度作業計画」は、サーマルリサイクル本格実施前と後の計画を「前期」「後期」と

分け前期の計画の確認を行い、後期計画は別途協議・交渉とし、前期作業計画は要求通り現状維持とした。

②粗大ダンプ車を増車させた。申し込みから収集までの期間短縮を図るために収集エリアを6分割から3分割に変更。

当局からは当初、粗大組の一組増で車付人員を「本職1名、再雇用・派遣職員2名」との提案だったが了承せず、増車した車を組数増とはせずに現状の3シングル体制を2シングル1ダブル体制にした計画とした。

③「平成19年度作業計画」交渉における当局提案があまりに唐突であったために反対、見送りとした軽小車輛の事業所配置については支部内での協議も重ね、事業所の再任用、再雇用職員の職の確保の観点から「平成20年度」は了承した。

※また、妥結にあたりリサイクル清掃課、清掃事務所所属長に対し、支部として「平成20年度作業計画」関わる申し入れを行った。書記長・工藤秀博



わたしの次男は、小学校2年生の時からから野球を習い始め、一つの目標であった高校野球3年生夏、最後の東京大会も去年7月をもって終わりました。こうして我が家の息子の野球生活の幕がひとまず閉じました。▼今から思い返せば、夏休みといっても、人並みに遊びにも行くこともできず、小さい頃から野球漬けの日々でした。そんな厳しい環境の中でも息子が野球を続けてくれたたおかげで、親であるわたしが子供に教わったことは、盛りだくさんでした。そして、多くの仲間と巡り会えたことに感謝すると同時に、その出会いは財産でもあります。▼小さい子供を持つお父さん、自分の子供には、ぜひスポーツをさせてみてはいかがですか。そして世に生を授かった以上、一人でも多くの人と巡り会いたいものです。



「平和の火」を掲げ、元気に走る国分さん、山元さん

### 平和の火のリレー

6月2日(月) 15時〜15時0分  
文京清掃事務所〜小石川郵便局

#### 国分海渡

平和の火のリレーは、今回で3度目の参加になります。短い距離ではありますが、反核・反戦の

願いを込めて走ることができました。

次回走ることがありましたら、更に強い気持ちで走りたいと思います。

#### 山元清隆

今回で3度めとなる平和の火のリレーを走りました。Tシャツの色がち

よっときつかったので、次回走るのであれば、もう少し、いい色でお願いしたい限りです。



決勝戦最終回で本塁打を打った橋本選手



1回戦で力投する文京Yチームの伊藤選手

### 第二地連大会ソフト

## 文京4連覇達成

引き分け、両チーム優勝

5月27日(火)から6月19日(木)まで、足立区平野グラウンドで行われた第二地連ソフトボール大会

#### 1回戦 文京Y対北B 5月27日(火)

チーム	1回	2回	3回	4回	5回	計
文京Y	0	4	0	0	0	4
北B	8	2	3	0		13

#### 2回戦 文京対荒川 6月6日(金)

チーム	1回	2回	3回	4回	計
荒川	0	2	0	0	2
文京	1	2	0	3	6

#### 決勝戦 文京対台東 6月19日(木)

チーム	1回	2回	3回	4回	5回	計
台東	0	0	3	3	3	9
文京	1	1	0	5	2	9

ル大会が無事に閉幕を迎えました。

わが文京チームは、「時間切れ同点引き分け両チーム優勝」という形ではありますが見事、大会4連覇を飾りました。

決勝戦で対戦した台東とは、これで3大会連続、決勝戦での激突となりました。今回も逆転に次ぐ逆転と、例年にならない激戦となりました。2点差でリードされたまま最終回を迎えましたが、橋本選手、荒木選手の連続本塁打でついに追いつき、「時間切れ引き分け同点両チーム優勝」大会

4連覇を達成しました。今回の大会には、「文京チーム」(文京支部ソフトボール部)と「文京Yチーム」(播磨坂事業所・本郷支所有志連合)が参加しました。

文京Y対北Bの1回戦は、播磨坂事業所・伊藤選手先発、同・坂巻選手リリーフの継投でがんばったのですが、残念ながら初戦を勝利で飾ることができませんでした。

文京対荒川の2回戦では、荒木選手が速球で荒川打線を抑え、森田選手の3打数3安打3打点の活躍で、勝利しました。